

海外短信



～ベトナム～

『ベトナム・ビエンホア市の日曜日』

～ 原田工業㈱ ～



「日曜礼拝の風景」

HARADA INDUSTRIES VIETNAM LIMITED は、1997 年にホーチミン市から約 30 キロ北東にあるドンナイ省の省都・ビエンホア市に設立され、車載用アンテナの製造を行っている。日系企業も含め海外企業の工場が多いこのビエンホア市の大きな特徴は、キリスト教（カトリック）の信者が非常に多いことである。

文献やインターネットで調べてみると、1954 年のジュネーブ協定後にベトナムは南北に分裂することになるが、共産主義を嫌った北部の信者が南部のこのビエンホアに移住してきたことが背景とのことである。

市内の至る場所に教会はあり、毎週日曜日の朝・夕はそれぞれの教会で礼拝が行われるため、礼拝の前後には老若男女の信者と彼らのバイクで教会周辺はとても混雑する光景が広がり、その活気に圧倒される。又、一般家庭や商店、食堂などにもキリスト像やマリア像が置かれ祀られているのをよく見かけ、生活にも溶け込んでいることが実感できる。

ベトナム戦争、ベトナム料理、著しい経済成長やオートバイの群れ、ベトナムと聞いてイメージは様々であるが、人々の生活にしっかりと溶け込んだキリスト教文化は、意外に知られていないベトナムの側面なのかも知れない。

経済の発展によって街並みも大きく変わり、ベトナムの人々の生活も急速に変化しつつある。

それによって失われるものもある一方で、ビエンホアの人々の篤い信仰心は将来もずっと変わらないだろう。

変わり続けるベトナム、変わらないベトナム、どちらも今のベトナムそのものの姿だが、その両方をしっかりと見つめながら現地の生活に根ざして頑張っていきたい。



「キリスト教グッズの専門店」